

## 2019・小学校中学年「かみさまにあいたい」

□主人公の雄一と竜也は小学3年生。もし私のクラスに雄一 / 竜也 がいたら、

と思いました。

□雄一には大好きなおばあちゃんがありました。私は 大好きなおばあちゃんがいる / 祖父母はいない ので、

雄一の気持ちが、とてもよくわかる / 少しだけわかる / うらやましいなど / いたらいいなと と思いました。

□竜也のお母さんは仕事が忙しくて、たんじょう日もいっしょにいられませんでした。もし私なら

と思いました。

ひとりぼっちでおるすばんのたんじょう日を考えると

という気持ちになりました。 / 気分になりました。

□竜也が「神さま」と会った話を読んで、私は

と思いました。

私にとって「神さま」とは

のような イメージ / 存在 です。

私がもし「神さま」と会ったら

聞いて / してみたいです。

□雄一と竜也は、「神さま」にあうために（かくれ家で横断幕をつくり、神さまへのメッセージを書く）

もし私なら、おもしろそうだからいっしょにやりたい。 / かくれ家にかけてに入っておこられそうだからやらない。

/ なんでもやってみるのはスゴイと思う / さいしょからできないとあきらめてしまう / 考えただけで大変。

□私が一番ドキドキした / びっくりした / 悲しくなった / 楽しくなった 場面は、

です。

なぜなら、

だからです。

□私が一番好きな / むかついた / 悲しくなった / うれしくなった / 考えさせられた セリフは、

『

』 です。

なぜなら、

だからです。

□雄一 / 竜也 / 2人 はこれから

なるのではないかと思います / なってほしいと思いました。

□この物語を読んで、大切な人とつぜんお別れすることがあるということを知りました / あらためて考えました。

さよならも、ありがとうも言えずに別れると言うことは

ではないかと思います。

□だから、今大切な人 / 家族 / 友だち といっしょにいることを

と考えました。 / と思いました。